

和歌山大学 2024年度学位記授与式 式辞



和歌山大学の令和6年度卒業式において、学部を卒業し学士の学位を得た895名の皆さん、大学院修士課程及び専門職学位課程を修了し学位を得た210名の皆さん、博士後期課程を修了し博士の学位を得た3名の皆さん、学位取得おめでとうございます。

皆さんの努力と忍耐が結実し、この晴れやかな日を迎えられたことに、理事、副学長、学部長、本学の教職員一同、そしてご来賓の方々とともに、深い敬意と祝意を表します。ご家族や関係者の皆様にも、これまでのご支援とご理解に感謝申し上げます。

卒業、修了を迎える今日、この瞬間は、皆さんがこれまでの努力を振り返るとともに、新たな挑戦に向けて歩みを進める第一歩です。大学での学びの日々は、決して平坦ではなかったことでしょう。課題や試験、研究に取り組む日々の中で、多くの試練を乗り越え、自らの可能性を広げてこられました。その歩みが、今の皆さんの姿を形作り、未来への扉を開く鍵となっています。

本学は、単に知識を授ける場にとどまらず、「未来を切り拓く知の舞台」として、社会に貢献する力を育むことを教育基本理念としています。和歌山の豊かな自然と文化に根ざし、この地で培った知識、経験、人間関係を胸に、皆さんはこれからの時代を導くリーダーとなる存在です。皆さんには、この学びの成果を活かし、社会に新たな価値をもたらしていただきたいと心から願っています。

和歌山大学が掲げる「学びとwell-beingの調和」は、知識の追求だけでなく、人間性の育成を重視しています。この理念は、現代社会の変化の中でますます重要性を増しています。皆さんには、この調和を体現し、どのような状況でも他者と協力し、共に成長する姿勢を大切にしていた

だきたいと思います。そして、思いやりと感謝の心を持ち、他者の幸福を自分の喜びとする生き方を追求してください。それが真のリーダーとして輝く道です。リーダーシップとは単に先導することではなく、周囲の人々と信頼関係を築き、共通の目標に向けて力を合わせる総合力でもあります。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響や社会的変化の中で、学びの場が大きく変容しました。オンライン授業やリモート活動といった未経験の形式に皆さんは柔軟に対応し、創造力を発揮しながらこの困難を乗り越えました。この経験は、これからの人生においても大きな力となることでしょう。皆さんが示した柔軟性と適応力は、これからの社会で大いに役立つ貴重な資質です。

さらに、皆さんがこれから直面する多くの挑戦には、成功とともに失敗も伴います。しかし、失敗は新たな学びの始まりです。困難に直面した際には、和歌山大学で学んだ「挑戦する心」を胸に、得た教訓を活かして前進してください。スティーブ・ジョブズの言葉にあるように、「今日が人生最後の日だと思って生きるとき、初めて自分の真の道が見えてくる」と指摘しています。この精神を持ち続け、自らの信念を貫いてください。

和歌山大学で得た学びと経験は、皆さんの人生の財産です。和歌山大学で培った知識や人々のつながりを胸に、新たな未来を切り拓いてください。和歌山の豊かな自然や文化は、皆さんの感性を育み、視野を広げる力となったことでしょう。この和歌山の地の魅力を忘れることなく、これからの人生においてもその価値を見出し続けてください。

現代社会は急速に変化しています。技術革新やグローバル化が進む中で、柔軟性と創造的な思考が求められます。和歌山大学で培った知識と経験を活かし、社会の課題に立ち向かい、未来を切り拓いてください。さらに国際的な視野を持ち、多様な価値観を受け入れながら新たな挑戦に取り組む姿勢は、皆さん自身と社会全体の発展につながります。皆さんの活躍が、次世代の希望となることを期待しています。

そして、和歌山大学の卒業生として、地域社会との連携を大切にしながら、次世代の育成や地域課題の解決にも積極的に関わっていただきたいと願っています。例えば、地域での教育活動や文化事業に参画することで、皆さんの知識や経験を社会に還元する機会が得られます。このような活動を通じて、皆さん自身もさらに成長し、地域の発展に寄与することができるでしょう。

また、国際的な視野を広げることも忘れないでください。異なる文化や価値観に触れることで、皆さんの視野はより広がり、国際社会の中で果たすべき役割が見えてくるはずです。今、本学は特に推進していることは国際交流です。国内にとどまらず、国際的に豊かな経験を踏み、これからの皆さんもグローバルな世界を視野にキャリア形成に大きく貢献してください。

本学が掲げる地域連携の理念には、地域の課題解決に資する知識の提供や研究活動が含まれます。卒業生の皆さんが今後、地元や他の地域において、この理念を実践し、地域社会とのつなが

りを一層深めていくことを期待しています。たとえば、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みや、地域産業の活性化に寄与するプロジェクトなどに参加することが考えられます。これらの活動を通じて、皆さんが学んだ知識を具体的な形で応用する機会を得ることができるでしょう。

さらに、本学が提供する教育の根幹には、倫理観と社会的責任感の涵養があります。これらは、単に職業的成功を追求するだけでなく、社会にとって有意義な存在となるための重要な要素です。皆さんがこれからのキャリアを歩む中で、これらの価値観を忘れずに行動することを切に願っています。

卒業後も、本学とのつながりを保ち、同窓生ネットワークを活用していただきたいと思います。同窓会活動を通じて、和歌山大学の一員としての誇りを持ち続けるとともに、新しい人脈を築く場としても役立ててください。皆さんの活躍が、和歌山大学の名を国内外でさらに高めていくことを確信しています。

最後に、皆さんのこれからの成功と健康、そして幸運を心から祈念します。和歌山大学での学びを胸に、希望と可能性に満ちた未来を切り拓いてください。本学の教職員一同、皆さんの歩みを常に応援しています。この式辞をもって、皆さんの輝かしい門出を祝福いたします。これからも誇りと自信を持ち続け、新たな未来を創り出して行ってください。

本日は、誠におめでとうございます。

以上をもちまして、式辞といたします。

2025年3月22日

和歌山大学 第18代学長 本山 貢